

八尾市母子父子寡婦福祉資金貸付金債権回収等業務委託プロポーザル評価基準

1 選定方法

- (1) 提案書内容、見積価格を基に評価点数を算出する。
- (2) 評価点は各委員の持ち点を 100 点とする。
- (3) 参加申込者が 4 者以上ある場合は、事前審査として、提案書、見積書、類似業務の実績の書類審査を行い、その評価点数の高い上位 3 者を審査の対象とする。
- (4) 審査は、提案書及びプレゼンテーションの内容を踏まえ総合的に評価を行い、優先交渉権者及び次点者を選定する。
- (5) 評価点数の同じ者が 2 者以上あるときは、評価項目「3. 業務実施内容と実施手法」の合計評価点（以下、「提案評価点」という。）が高い者を上位とする。なお、提案評価点も同じ場合は、再度提案評価点の採点を行い、優先交渉権者を選定する。
- (6) 優先交渉権者との協議が合意に至らなかった場合は、次点者と協議に入ることとする。
- (7) 優先交渉権者の評価点が選定会議出席委員持ち点総合計の 60%に達しない場合、再募集とする。

2 評価基準

採点は、以下採点のとおり 5 段階で採点し、審査基準ごとの掛率で配点する。

非常に 優れている	優れている	標準である	劣っている	非常に 劣っている
5	4	3	2	1

3 留意点

- (1) 評価項目で、1 項目でも提案がない項目があれば、すべての項目の評価を行わない。
- (2) 提案上限額以上の見積価格を提出した者は評価しない。

4 評価基準

提案書及びプレゼンテーションの内容における採点

評価項目	審査基準	掛率	配点
1. 業務実施方針	(1) 委託目的を理解し、業務実施方針が提案されているか。 (2) 債務者の経済・就労状況の把握など、福祉的観点からの配慮についての姿勢が示されているか。	× 2	10
2. 業務実施体制	(1) 業務が遂行可能な人員体制が確保されており、また業務の管理体制は適正か。 (2) 責任者及び従事者は、業務を遂行する上で、必要な経験、知見及び資格等を有しているか。 (3) 本市との連絡・調整が速やかに行える体制が確保されているか。	× 4	20
3. 業務実施内容と実施手法	(1) 債権の催告について ・具体的な実施方法・時期・回数等が示されているか。 ・回収向上に向けた具体的取組が示されているか。	× 2	10
	(2) 納付相談について ・具体的な実施方法、相談体制が示されているか。 ・トラブル・苦情等の対応方法が具体的に示されているか。	× 2	10
	(3) 収納金の保管・払込について ・具体的な実施方法、確認・管理方法が示されているか。	× 1	5
	(4) 調査について ・具体的な調査方法、実施体制が示されているか。	× 1	5
	(5) 報告について ・具体的な様式・作成方法、提出方法が示されているか。 ・情報管理個人情報保護を含む方法が示されているか。	× 1	5
	(6) 福祉的な視点について ・相談対応及び報告について福祉的な視点が含まれているか。	× 2	10
4. 業務実施上の管理運営体制	(1) 情報セキュリティに関し、組織的な取組が実施されているか。 (2) 個人情報の管理方法及び管理体制が確保されているか。 (3) 従事者に守秘義務を徹底する方法職員研修等が具体的に示されているか。	× 2	10
5. 業務実績	母子父子寡婦福祉資金債権回収業務又はこれに類する業務の受託実績を有し、十分な回収の実績があるか。	× 1	5
6. 経費	下記の見積書審査基準により審査	× 2	10
合 計			100

・見積書審査基準

提案者のうち、最も成功報酬率の低い見積額を提示した者は、10点とする。

2位以下については、下記の演算式によるものとする。

（【提案者中最も成功報酬率の低い見積額／各者見積額】×10点 少数点以下は切り捨て）